



今回は貸借対照表の基本についてお話ししました。また、以前にお話した損益計算書やキャッシュフロー計算書と合わせて見ることで、それだけでも会社のさまざまなことが分かります。しかし、もう一歩踏み込んで、これらの数値を分析することで、さらに会社の様々な強みや問題点が見えてきます。その手法を財務分析と言いますが、今回は、財務分析の中でも重要なものについて、その基本を学んでみたいと思います。

まずは前回学んだ貸借対照表のみから行える分析には以下のようなものがあります。

- |         |            |                           |
|---------|------------|---------------------------|
| ①流動比率   | =流動資産÷流動負債 | 短期的負債の支払をカバーできる運転資金の状態をみる |
| ②当座比率   | =当座資産÷流動負債 | 短期的負債に対する支払能力をみる          |
| ③自己資本比率 | =自己資本÷総資本  | 総資産に対する自己資本の割合をみる         |
| ④固定比率   | =固定資産÷自己資本 | 自己資本に対する固定資産の割合をみる        |

次に損益計算書のみから行える分析には以下のようなものがあります。

- |              |            |                                 |
|--------------|------------|---------------------------------|
| ⑤売上総利益（粗利益）率 | =売上総利益÷売上高 | 売上高に占める現価以外の利益の額（付加価値）の割合をみる    |
| ⑥営業利益率       | =営業利益÷売上高  | 売上に対しての本業で稼ぐ力をみる                |
| ⑦経常利益率       | =経常利益÷売上高  | 売上に対しての通常の事業活動で儲けた額の割合をみる       |
| ⑧当期純利益率      | =当期純利益÷売上高 | 売上に対してのその事業年度に最終的に稼いだ利益の額の割合をみる |

最後に貸借対照表と損益計算書の両方の数値を利用した分析には以下のようなものがあります。

- |               |             |                              |
|---------------|-------------|------------------------------|
| ⑨株主資本利益率（ROE） | =当期純利益÷自己資本 | 株主の持ち分である自己資本が利益獲得に貢献した割合をみる |
| ⑩総資産利益率（ROA）  | =当期純利益÷総資産  | 会社が有する資産が利益をどれだけ獲得したかの割合をみる  |

上記の2つの指標は上場株式の分析検討の際にもよく利用されます。

これらの指標は単独で見ても様々なことがわかりますが、より重要なことは、

- ①同じ会社の連続した数期分の指標を比較して、その会社の動向を知る。
- ②同業他社と比較して調べている会社がどの程度の優位性（又は劣等性）があるのかを知る。

ということです。①により、会社の成長性や問題点を知ることができ、②により、同業他社や業界の平均と比べた場合に調べている会社の強みや弱みを知ることができます。これらを財務面から今後の経営判断に役立てましょう。

